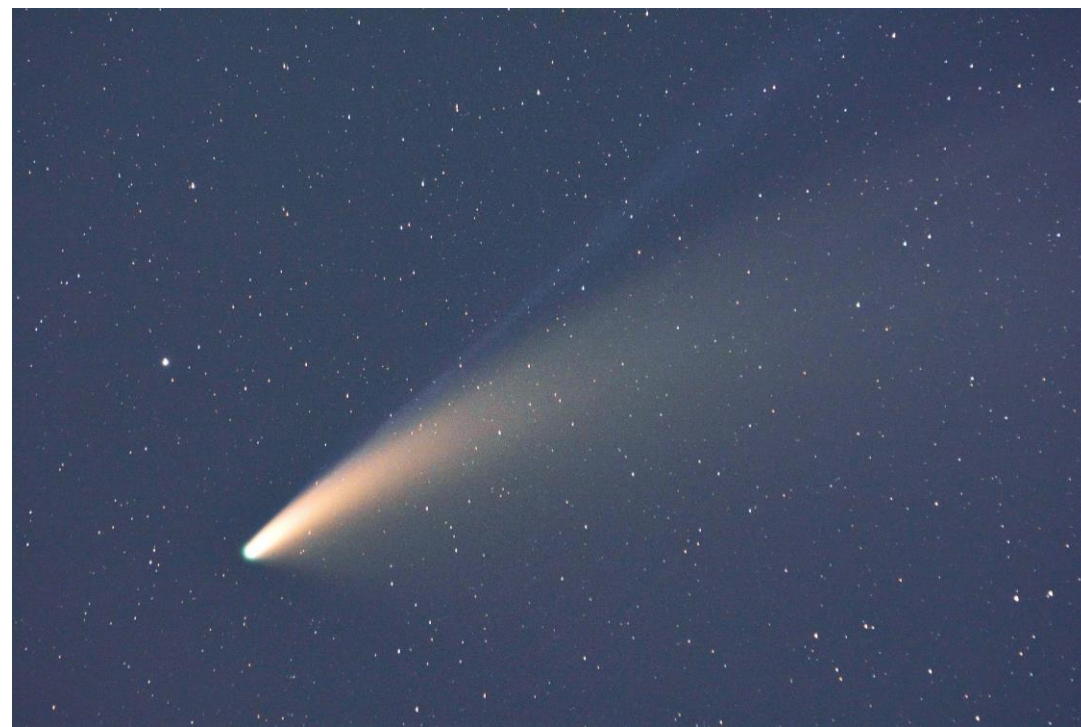


# 2024年期待の大彗星

---



画像：ネオワイズ彗星

# 2024年4月21日

## ポン・ブルックス彗星

## 近日点通過

周期彗星ポン-ブルックス彗星(12P)が回帰して明るくなります。

3月下旬頃から4月には夕方の西の空で4等級台になると予想されています。

薄明後 双眼鏡等で探してみてください。うお座で東方最大離角になろうかとしている水星の右上あたりにあると思われる。

4月10日には、夕方の西の空で細い月のすぐ左上 木星との間あたりにあり探しやすいと思います。

4月21日の近日点近くでは4等級くらいの明るさになると思われ、暗いところであれば尾も見えていると思います。その後、彗星は南下をしますので、北半球では急速に見えなくなってしまう。

空の暗いところであれば肉眼で見ることができそうです。この彗星は周期が約70年とハレー彗星(周期76年)と似た特徴があるようです。



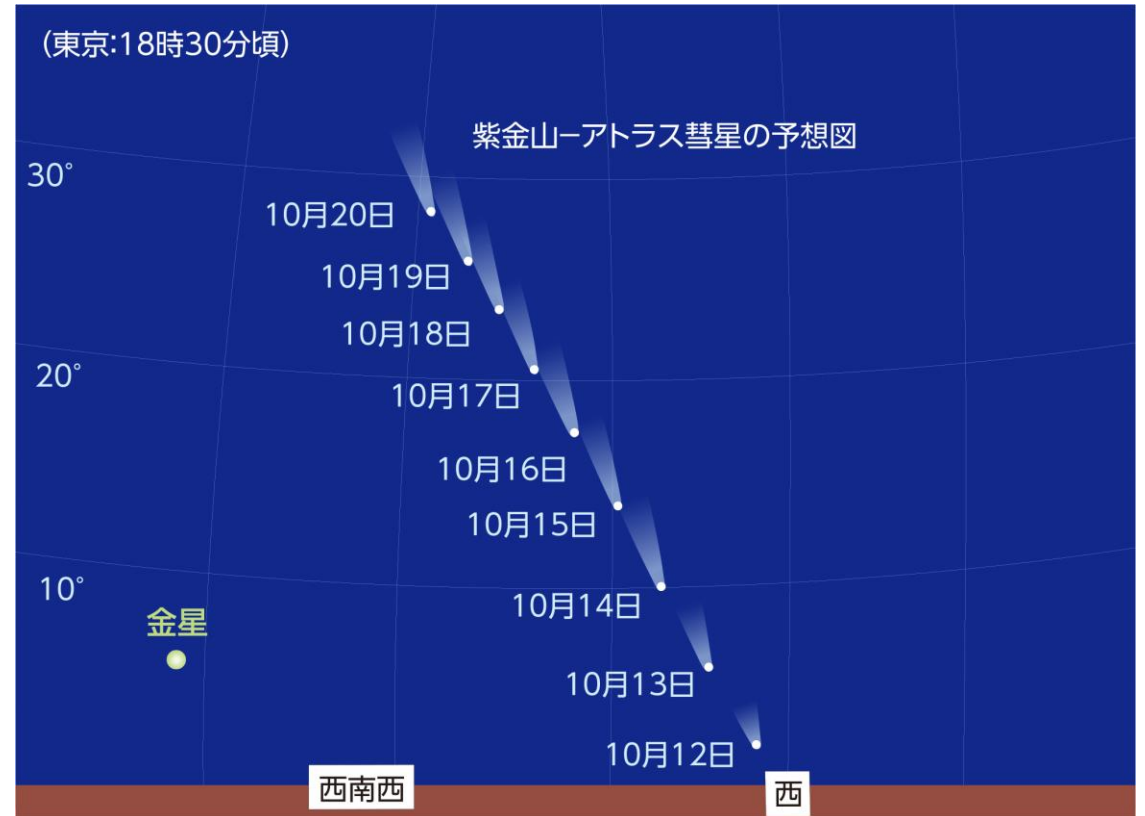
# 2024年10月13日

## 紫金山-アトラス彗星 近日点通過

2023年1月に発見された紫金山-アトラス彗星が地球に最接近するといわれています。

9月8日ごろに太陽に一番近いところ(近日点)を通りその後どんどん北上して10月13日ごろに地球に最も近づく(近地点)を通過します。その時の明るさは予報では0等～-1等くらい(ベガとかカペラくらいの明るさ)と予想され日没後の西の空に肉眼で尾が見られる彗星となりそうです。-5等くらいまで明るくなると予想している方もいます。

この彗星の近日点は彗星の軌道くらいまで近づきますので、その時に表面の物質がたくさん放出されれば長くて大きな尾が出るものと思われます。



# 彗星を観測するには

---

## ● 双眼鏡で見る！

肉眼彗星になると言っても、やはり双眼鏡があるといいでしょう。双眼鏡で観測すると、彗星の核やコマ、尾の状態まで見ることができます。また肉眼では見えにくい明るさの時期でも、双眼鏡があれば彗星観測が楽しめます。肉眼で見るのと双眼鏡で見るのとはまた違った見え方をしますので、双眼鏡での観測をお勧めします。

双眼鏡を選ぶときは、倍率は低めで口径の大きいものが適しています。例えば、8倍32mm、8倍42mm、7倍50mmの双眼鏡で、レンズにマルチコートやフルマルチコートが施されているものが見やすいと思います。

## ● 天体望遠鏡で見る！

天体望遠鏡で観測する場合は、なるべく口径の大きなもので倍率を低くしてみることをお勧めします。

双眼鏡と違い天体望遠鏡は倍率が高くなるので、視野が狭くなってしまいます。そのため低倍率にして、なるべく広い視野で見たほうが確認しやすくなります。彗星は淡い天体のため視野が狭くなると見つけるのが大変になります。

# おすすめ製品

## ●双眼鏡

ウルトラビューEXコンパクト8 x 32/10 x 32



大口径かつ小型・軽量の双眼鏡

### ■ウルトラビューEXコンパクト8 x 32

JAN : 4961607406960

価格 : 30,000円 (税別)

BizBroad\_URL  
<https://bizbroad.kenko-tokina.co.jp/shop/g/g4961607406977/>

### ■ウルトラビューEXコンパクト10 x 32

JAN : 4961607406977

価格 : 32,000円 (税別)

BizBroad\_URL  
<https://bizbroad.kenko-tokina.co.jp/shop/g/g4961607406960/>

## ●天体望遠鏡

MEADE EQM-127N

入門者向け 口径127mm  
反射式赤道儀天体望遠鏡



大口径127mm



アイピース付属

### ■MEADE EQM-127N

JAN : 4961607160428

価格 : オープン価格

BizBroad\_URL  
<https://bizbroad.kenko-tokina.co.jp/shop/g/g4961607160428/>